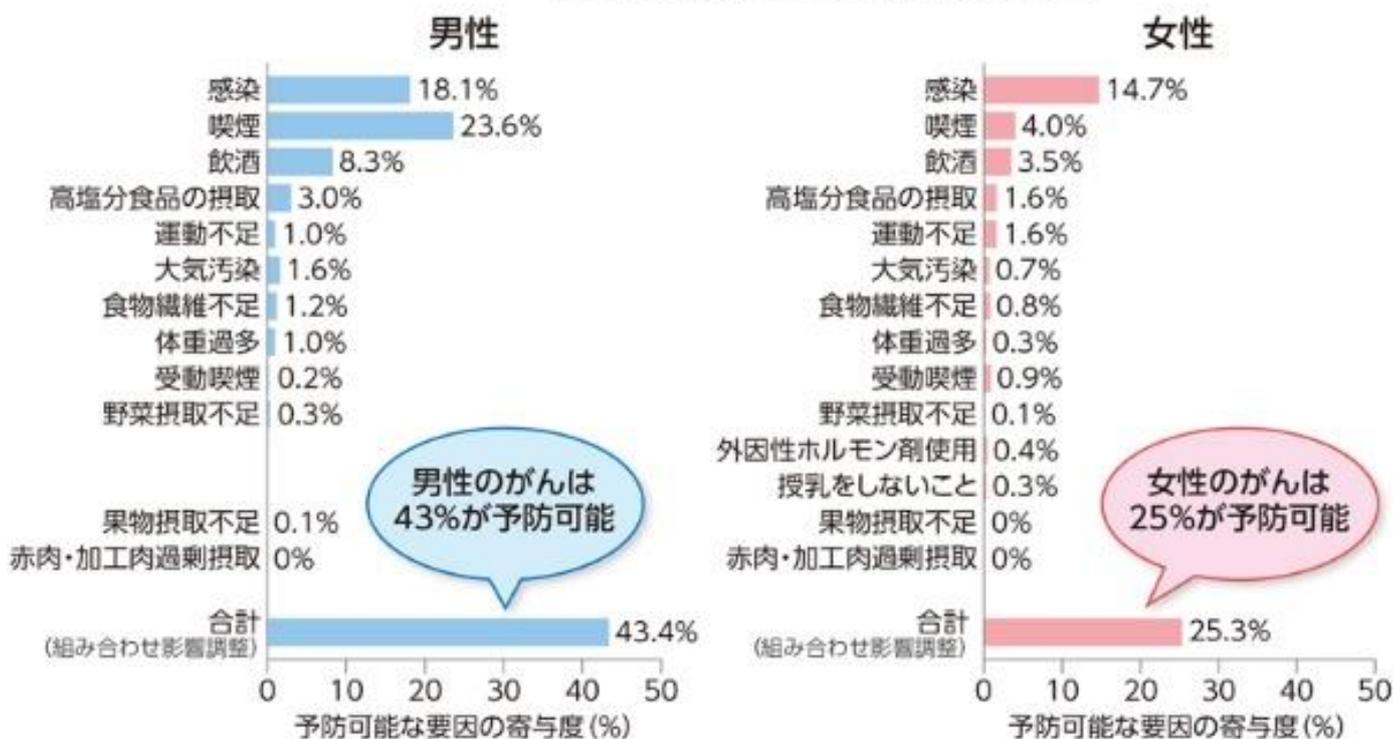


週刊 **タバコの正体**

厚生労働省の患者調査によると、全国のがん患者数は約230万人だそうです。単純に計算すると、人口1000人あたりに約20人のがん患者がいることになります。そこで、その原因をまとめた下のグラフを見て下さい、一番多いのは何でしょう。喫煙率が高い男性においては、その原因の23.6% (約1/4) がタバコなのです。対して喫煙率が低い女性では4%にとどまっているのです。

ということはタバコを吸う人が少なくなれば、がん患者も少なくなると予測できますよね。

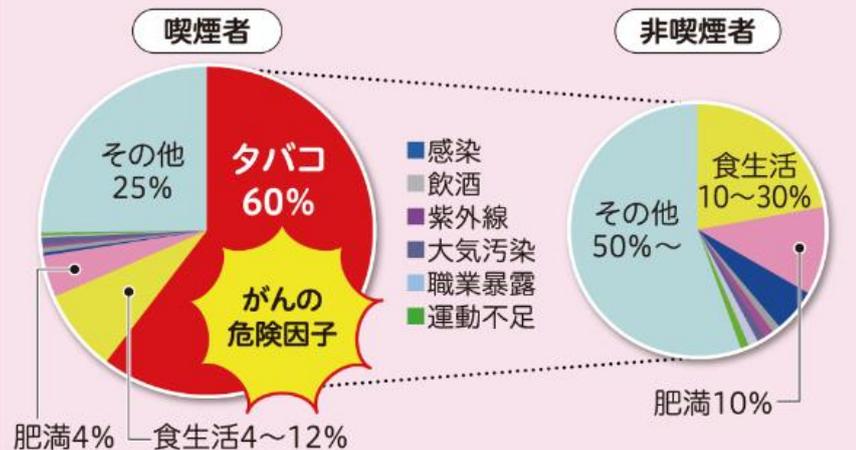
日本人のがんは何が原因か？



日経 Gooday「がん予防の鉄則」サイトから

男女計では36%が予防可能

■ 喫煙者と非喫煙者を比較したがんの発生要因



それでは、喫煙者と非喫煙者を分けて、がんの発生要因を見てみましょう。左図のように、喫煙者のがん患者の60%が、タバコによるものなのだとわかります。

いかがでしょうか、「タバコを吸わなければ、がんにならずに済むのに」と思いますよね。

産業デザイン科 奥田恭久

2011年度日本肺癌学会 禁煙推進委員会「喫煙問題に関するスライド集」より作成

全国健康保険協会 HP から